

令和8年第2回ひたちなか市  
教育委員会2月定例会

日 時 令和8年2月18日(水)  
午後4時  
場 所 第3分庁舎 防災会議室2

次 第

- 1 開 会
- 2 教育長のあいさつ及び開会の宣告
- 3 その他
  - (1) ひたちなかふるさと検定大会について
  - (2) 指導課事業の報告について
  - (3) 学校部活動の地域連携・地域移行について
  - (4) 市立学校運営方針2026について
- 4 閉 会

小学生が郷土への誇りを深める市民・地域・学校が協働する

## 「ひたちなかふるさと検定大会」を開催

日時：令和8年2月4日(水) 8:30~11:30

会場：ひたちなか市文化会館小ホール



### 市内小学校・義務教育学校全18校より、各校3~4名の代表児童、計71名が参加

ひたちなか市では、令和8年2月4日(水)、ひたちなか市文化会館小ホールにおいて、

「令和7年度 第1回ひたちなかふるさと検定大会」を開催しました。

本大会は、郷土への理解を深め、シビックプライドの醸成を図ることを目的に、今年度初めて実施したものです。



【問題に答える児童たち】



【正解を喜ぶ児童たち】



【優勝した那珂湊第二小学校】

### 問題は市内児童及び地域、地域事業者より募集

本大会では、市内の児童や地域の方々から問題を募集し、1,200以上の応募の中から選定した問題を出題しました。さらに、地域事業者からは、出題協力や参加賞の提供、大会運営に係る協賛をいただき、地域全体で作った大会となりました。

### 競技の結果

優勝：那珂湊第二小学校

第2位：津田小学校

第3位：前渡小学校



[こちらをご覧ください]

大会当日の様子はライブ配信のアーカイブでご覧いただけます

今後も教育委員会においてシビックプライドの醸成につながる取組を継続して推進してまいります。

中学生の「学校間英会話交流」「英語プレゼンテーション発表」について

1 **学校間英会話交流**

(1) 目的 中学生が初めて出会う生徒同士で適度な緊張感のもと、英語で相手の話を聞いた上で自分の考えや思いを伝える交流を通して、英語でのやり取りする力を高める。

(2) 期 日 12月10日(水)、11日(木)、12日(金)

(3) 対 象 勝田三中(4学級)・佐野中(6学級)の1年生

(4) 内 容 ・生徒はアドバンスト・ベーシックの2コースに分かれる。

コース	アドバンスト (144名)	ベーシック (132名)
テーマ	「学校のよいところ」について	「自己紹介」

・オンラインで生徒同士が2対2で、英語でテーマに関する自分の意見をインタラクティブに伝え合う。

(5) 実 績 各日、25分間。1回5分間で3～4回の交流を実施。

(6) 成 果 ※生徒の振り返りアンケートより

○肯定的な評価をした割合

	アドバンスト	ベーシック
相手の話の内容をしっかりと聞き取ることができた。	94%	89%
相手に自分の考えを英語で伝えることができた。	94%	90%
相手に分かりやすいように言い換えたり、ジェスチャーを使ったりして伝えることができた。	90%	81%
相手が話したことに對して、相づちを打つなどリアクションすることができた。	92%	93%

○アドバンストコースの生徒より

- ・「自分の知っている単語で話したいという気持ちが高まり、実際に話すことができた。」
- ・「一方的に話すより、質問なども交えて話すとお話がはずんだ。またやりたい。」

○ベーシックコースの生徒より

- ・「もっとすらすらと会話がしたい。」
- ・「相手と話すことで、理解できた言葉があった。」

※担当教諭より

- ・想像していた以上に、生徒はしっかりと話をすることができた。
- ・生徒から「またやりたい」という声があがっていた。

## (7) 課題と対応

- ・今年度は1回の実施となり、即興的なやり取りまでは至らなかった。さらにやり取りする力を高めるために、年に2回以上の交流ができるようにしていく。
- ・他校ペアにおいても実施できるよう、実施校を増やす。

## 2 英語プレゼンテーション

(1) 目的 中学生が海外の人に向けて、ひたちなか市の地域紹介や観光案内をするためのプレゼンテーション動画を英語で作成することを通して、英語での発信力向上を図る。

(2) 時期 10月～12月

(3) 対象 本市立中学校2年生・義務教育学校8年生全員

(4) 概要

- ・校内でグループを編成し、英語の授業の中でプレゼンテーション動画を作成。
- ・テーマは「ひたちなか市のよいところ」(地域紹介・観光案内等)
- ・各学校は、優秀作品を1点選出。
- ・各学校より選出された中から市の最優秀作品を選考し、市のHPに掲載。

(5) 審査 1月9日(金) 審査員：小学校ALT2名

- ・最優秀賞 勝田二中 ※市HPに2月4日掲載予定。2月10日の市報に掲載予定。  
2月4日の教育振興大会で生徒表彰
- ・優秀賞 勝田一中・勝田三中・佐野中・大島中・田彦中・那珂湊中・美乃浜  
※生徒に賞状伝達

(6) 成果

○審査員のALTより

- ・資料の提示の仕方等、オリジナリティのある動画が多かった。
- ・小さな発音のミスもあったが、はっきりとした声で、聞き手に分かりやすい声量で話すことができていた。
- ・「行きたい」と思わせるプレゼンテーションになっているものがあった。

○担当教諭より

- ・全体的に「海外の人に向けて」という相手意識があることで、生徒たちはどのように伝えたらひたちなか市のよさが伝わるかを考えることができた。

(7) 課題や対応

- ・名所の事実の紹介にとどまらず、自分たちの思いを述べられるように、要項や学校での指導において周知する。
- ・スライドやプレゼンを基にやり取りを行う取組を校内や市全体で行えないか検討する。

令和8年2月18日

ひたちなかふるさと体験プログラム制作概要  
～白亜紀層から G1 タワーへ、そして未来へ～

- 1 目的 市立学校の児童が、校外学習等において、ふるさとの自然・食・歴史等の豊かな地域資源について体験的に学ぶことを通してシビックプライド醸成に資する。
- 2 対象 市立小・義務教育学校前期課程の児童
- 3 内容
  - (1) 実施単位 学年または学級単位
  - (2) 実施時間 校外学習または複数教科の時間を組み合わせた時間帯  
各プログラムを単一または複数組み合わせる実施
  - (3) イメージ 下表の各プログラムの展開例をデジタルリーフレットにて提供

	体験場所 (想定所要時間)	活動 (想定学年)	備考 (学ばせたいこと)
自然	白亜紀層 (1時間)	地層の観察、写真撮影 (中・高学年)	1億年間の地殻変動 地層と化石
	川・磯場 (2時間)	川や磯の生物の観察、写真撮影 (全学年)	海や川における食物連鎖
	さぎ山 (1時間)	自然観察、担当者の説明 (中・高学年)	猛禽類の生息と食物連鎖 生態系の成り立ち、環境保全の取組
食	水田 (4時間)	田植えと稲刈り (全学年)	米を得る苦勞と喜び 用水の重要性、自然との共存
	サツマイモ畑 (4時間)	サツマイモ収穫と乾燥芋づくり (全学年)	特産品の生産・製造過程と工夫 サツマイモの品種の多様さ
	水揚げ場、魚市場 (2時間)	水揚げの様子や魚市場を見学 (中・高学年)	水揚げの魚種の多様さ・量 水産業の技術、観光資源
	水産加工場(タコ) (2時間)	加工場の方の説明、施設見学 (中・高学年)	品質管理の工夫 輸出入先の広範さ
歴史	埋蔵文化財調査 センター	センター・虎塚古墳見学 (高学年)	石室・銅剣・埴輪、保存方法 古来豊かな土地であったこと
	平磯・磯崎・阿字ヶ 浦地区 (2時間)	自然や産物、歴史の学習 (中・高学年)	海の恵みと地域の歴史 木簡と平城京(コンプ献上)
	武田氏館 (1時間)	歴史資料展示見学 (中・高学年)	中世常陸国の武家の勢力図 甲斐武田氏のルーツ
	養賓閣・反射炉跡 (1時間)	施設見学、写真撮影 (中・高学年)	内水の舟運による那珂湊の繁栄 幕末水戸藩内の抗争
	六ツ野公園 (1時間)	平和の塔(石碑)見学 (高学年)	艦砲射撃と射爆場 戦争・被害・占領
	阿字ヶ浦駅 (2時間)	海浜鉄道乗車体験 (全学年)	敷設前後の沿線地域の変遷 (三反田・中根等地形図比較)

## 学校部活動の地域展開に係る地域クラブ活動の認定導入について

国の部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインの発出に伴い、競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や参加する生徒の安全、安心を担保する観点から、国のガイドラインに基づき認定制度の導入を考えております。

### 1. 認定制度について

#### ■ 1 認定要件のポイント（国が定めた認定要件）

- (1) 生徒が希望する活動に主体的に参加でき、豊かで幅広い活動機会に寄与するもの
- (2) 適切な活動時間や休養日が設定されていること
- (3) できる限り低廉な参加費が設定されていること
- (4) 適切な指導の実施体制が確保されていること
- (5) 適切な安全確保の体制が確保されていること
- (6) 適切な運営体制が確保されていること
- (7) 学校との連携が適切に行われていること

※認定要件の詳細は別紙のとおりです。

#### ■ 2 認定した地域クラブ活動を実施する団体への支援

- (1) 活動運営に関する費用の補助
- (2) 活動場所の優先利用（中学校体育施設）
- (3) 活動周知（市HP、H&S）

### 2. 準認定制度について

上記認定制度の他、生徒の活動機会を広く確保することや、参加する生徒の安全、安心を担保することを主目的とした本市独自の準認定地域クラブ制度の導入を考えております。

- ・多くの活動団体に参画していただけるよう上記要件の一部を緩和（生徒の安全、安心を担保する要件のみを抽出）
- ・準認定を受けた団体への支援は、■ 2（2）、（3）のみ

### 3. 今後のスケジュール

- (1) 地域クラブ活動実施団体の募集期間：2/12(木)～3/6(金)
- (2) 審査、認定通知：3/6(金)～3/18(水)
- (3) 認定および準認定地域クラブ一覧 HP 掲載：3/19(木)～
- (4) 生徒（保護者）申し込み開始：3/19(木)～

### 4. その他

各認定についての手続きの規定等は、次のとおり考えております。

- (1) 認定地域クラブ活動の認定・・・「要綱」として市長決裁
- (2) 準認定地域クラブ活動の認定・・・「実施マニュアル」として教育長決裁

○【試行期間】ひたちなか市地域クラブの活動状況（競技ごと）

- ・軟式野球（1団体）・・・・・・・・・・73人
- ・サッカー（5団体）・・・・・・・・・・68人
- ・ソフトボール（4団体）・・・・・・・・・・31人
- ・ソフトテニス（1団体）・・・・・・・・・・約120人
- ・陸上競技【中長距離】（1団体）・・・・10人
- ・バレーボール（4団体）・・・・・・・・・・144人
- ・バスケットボール（3団体）・・・・・・108人
- ・卓球（4団体）・・・・・・・・・・8人
- ・体操競技（1団体）・・・・・・・・・・11人
- ・柔道（4団体）・・・・・・・・・・すでに加入している生徒のみ
- ・剣道（5団体）・・・・・・・・・・23人
- ・吹奏楽（3団体）・・・・・・・・・・69人
- ・合唱（1団体）・・・・・・・・・・0人
- ・ニュースポーツ（1団体）・・・・・・0人
- ・なぎなた（1団体）・・・・・・・・・・0人

約665人が活動

地域クラブ活動の団体の整理について

R8.2.6

中学部活動の地域展開における地域クラブ活動団体を次の通り形態別に整理し、それぞれの団体が満たした条件に基づき支援等を行うことを検討する。

運営団体／運営母体		団体への支援			支援を受ける場合の満たすべき要件（必要条件）									
		運営費補助	活動場所調整	広報周知	認定	活動意義	適切な休息	年間計画策定	低廉な参加費	指導者登録	指導者研修	安全体制確保	団体規約	中学校と連携
認定地域クラブ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
準認定地域クラブ	少年団		◆	○		○	○		○		▲	○		★
	連盟加盟団体		◆	○		○	○		○		▲	○		★
	立上げ団体		○	○		○	○		○		○	○		★
	社会人団体		◆	○		○	○		○		○	○		★
	民間企業運営団体			○		○	○		○		○	○		★

【準認定地域クラブ活動団体の考え方】

- 少年団・・・少年団の規約に基づき中学生を受け入れて活動する団体
- 連盟加盟団体・・・各種連盟加盟団体のうち、中学生の活動を主とした活動を行う団体
- 立上げ団体・・・中学生の活動のために地域の方や保護者等が団体を立ち上げて活動する団体
- 社会人団体・・・社会人が趣味等で活動している中に中学生を受け入れて活動する団体

- ※運営費補助は、R8d（それ以降は未定）。
- ※活動場所の調整は、中学校施設のみ対象。
- ※活動場所調整の「◆」は、現在活動している場所を使うことを基本としているが、中学生を受け入れるために別途活動する場合は団体の意向に応じ調整を行う。
- ※指導者研修の「▲」は、実際に講習を受けるのではなく、市から配布された資料に留意し指導等を行う。
- ※中学校等の連携の「★」は、活動する生徒の活動実績等の情報共有など一部連携。

地域クラブ活動における認定・準認定要件比較表

「認定」地域クラブ活動	「準認定」地域クラブ活動
① 生徒が身近な地域において希望する活動に主体的に参加できるようにすることにより、豊かで幅広い活動機会の保障に寄与するものであること	
生徒の自主的・主体的な参加による活動であり、競技性や成果のみに偏重するのではなく、生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、生涯にわたってスポーツや文化芸術を楽しみ、豊かに関わるために必要な資質・能力等を育てることを目指した活動であること	<del>生徒の自主的・主体的な参加による活動であり、競技性や成果のみに偏重するのではなく、生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、生涯にわたってスポーツや文化芸術を楽しみ、豊かに関わるために必要な資質・能力等を育てることを目指した活動であること</del>
市が定める対象区域内に居住する生徒を主な対象とした活動であること。また、競技力強化等の観点から広域から生徒を集めるものではないこと	⇒⇒⇒
選抜等を行わず、参加を希望する生徒を広く受け入れること	⇒⇒⇒
② 適切な活動時間や休養日が設定されていること	
生徒の心身の成長に配慮して健康に生活を送れるよう、週2日以上以上の休養日を設定し、活動時間は、平日は1日2時間程度以内、休日は1日3時間程度以内とし、週当たりの活動時間は11時間程度の範囲内とすること。その上で、できるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動となっていること	⇒⇒⇒
年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会の日程等）や毎月の活動計画（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を策定し、公表していること	<del>⇒⇒⇒</del>
③ 活動の維持及び運営に必要な範囲で、できる限り低廉な参加費等が設定されていること	
国が示す参加費等の金額の目安を踏まえつつ、地域の実情や競技種目等の特性等に応じて、地域クラブ活動を持続的・安定的に運営していくために必要な範囲で、できる限り低廉な参加費等が設定されていること	⇒⇒⇒
④ 適切な指導の実施体制が確保されていること	
地域クラブ活動において指導や指導補助、見守り等を行う人材（以下「指導人材」という。）が、暴力・暴言・ハラズメント、いじめ、無視等の行為は、許されない行為であることを理解し、自らこうした行為を行わないとともに、参加生徒同士のこうした行為も許さないことを誓約すること	⇒⇒⇒
市が定める研修を受講し、市に登録された指導人材が活動に携わること	⇒⇒⇒
持続的・安定的な活動を確保するとともに、事故や暴力・暴言・ハラズメント等の不適切行為を防止する観点から、原則として、複数の指導人材が携わること	⇒⇒⇒
⑤ 適切な安全確保の体制が確保されていること	
生徒の発達段階や健康の状態、気温や湿度、暑さ指数（WBGT）等の環境を考慮のうえ、適切な指導内容や活動時間、休息时间、水分補給の機会等を設定するとともに、活動場所の管理主体と連携した施設・設備・用具の点検等を行い、事故防止を徹底すること	⇒⇒⇒
市、地域クラブ活動の実施団体、活動場所の管理主体等との間で、あらかじめ、事故等が発生した場合の対応や責任関係等を明確化していること	⇒⇒⇒
保護者や関係機関への緊急時の連絡体制の整備等を行い、事故発生時の対応を適切に行うこと	⇒⇒⇒
参加者及び指導人材が、自身の怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険に加入していること	⇒⇒⇒
⑥ 適切な運営体制が確保されていること	
次の内容を含む規約等を作成・公表していること。また、関係法令を遵守するとともに、規約等に基づき適切な運営が行われていること ・団体の目的・役員（代表、副代表、会計、監事）の選任・解任に関すること ・総会の運営など団体の意思決定に関すること ・会員の入退会、参加費等に関すること ・予算・決算の審議・承認に関すること	<del>⇒⇒⇒</del>
公正かつ適切な会計処理が行われ、透明性を確保するために関係者に対する情報開示が適切に行われていること	⇒⇒⇒
営利を主たる目的とせずに運営すること	⇒⇒⇒
大会・コンクールに参加する場合には、その運営に積極的に協力すること	<del>⇒⇒⇒</del>
⑦ 学校等との連携が適切に行われていること	
地域クラブ活動の活動方針や指導方針、スケジュール等を生徒の在籍する中学校等と共有すること	<del>⇒⇒⇒</del>
生徒の活動状況や活動実績等について、生徒の在籍する中学校等と必要な情報を共有するとともに、情報を適切に管理すること	⇒⇒⇒
市が学校と連携して生徒・保護者等に対する情報提供等（小学校高学年時の体験会、中学校等入学時のオリエンテーション、アプリなどによる地域クラブ活動の実施状況等の情報提供等）を円滑に行うことができるよう、必要な協力を行うこと	<del>⇒⇒⇒</del>
活動場所として学校施設を活用する場合や希望する教職員による兼職兼業が行われる場合等には、その円滑な実施のため、市や学校との必要な連絡調整を行うこと	活動場所として学校施設を活用する場合や希望する教職員による兼職兼業が行われる場合等には、その円滑な実施のため、市や学校との必要な連絡調整を行うこと

【試行期間】ひたちなか市地域クラブ活動 運営団体及び会場等一覧

2026/2/5

部活動をベースにした活動（兼職兼業の教員と地域が連携）
少年団・道場をベースにした活動
社会人の活動をベースにした活動
その他

No.	種目	団体名	活動場所	活動日時	活動費	定員	対象範囲	試行期間中の活動状況
1	軟式野球	ひたちなかベースボールクラブ	市内中学校グラウンド	土or日 9:00~12:00	1回 1,000円		全域	2回実施（2会場） 73人在籍
2	サッカー	佐野GES C	佐野中学校グラウンド	土 9:00~12:00			佐野中学区	2/7実施予定 21人参加予定
3	サッカー	六ツ野サッカー少年団	大島中学校グラウンド	土or日 13:00~15:00			全域	1回実施 6人参加
4	サッカー	総合型地域スポーツクラブみなとwaiwaiクラブ ソルチJYサッカー教室	しおかぜみなとグラウンド 那珂湊中学校グラウンド	木 19:00~21:00 土or日 9:00~12:00	1回500円		全域	2/7実施予定 26人参加予定
5	サッカー	ひたちなかKTPフットボールクラブ	KTPスポーツパーク	土 10:00~12:30	1回500円	1回 30名程度	全域	0人
6	サッカー	勝田一中サッカークラブ（仮称）	勝田第一中学校グラウンド	土 8:30~11:30			一中学区	2/7実施予定 15人参加予定
7	ソフトボール	茨城アストロプラネッツ（中体連参加）	旧笠間東中グラウンド	土or日 9:00~12:00	月5,000円		全域	新規参加者なし
8	ソフトボール	東石川少年団	東石川小学校グラウンド	土or日 8:30~12:30			全域	0人
9	ソフトボール	ひたちなか市ソフトボール教室	勝田第三中学校グラウンド	土or日 9:00~12:00	月1,500円		全域	2回実施 31人在籍
10	ソフトボール	勝田Braves少年団	市毛小学校グラウンド	土or日 8:00~12:00			全域	0人
11	ソフトテニス	ひたちなか市ソフトテニス教室	大島中学校テニスコート	土or日 9:00~12:00	1回 500円		全域	4回実施（1日2教室）各回20~40人参加
12	陸上競技 （中長距離）	ひたちなかランナーズ（仮称）	市総合運動公園陸上競技場 他	土or日 9:00~11:00	競技場利用料 1回 80円	20名程度	全域	2/21実施予定 10人参加予定
13	バレーボール	ひたちなか市バレーボール教室	美乃浜学園体育館	土or日 9:00~12:00	月1,500円		全域	2回実施 74人在籍
14	バレーボール	みなとバレーボール少年団	勝田第一中学校体育館	土or日 9:00~12:00			全域	1回実施 7人参加
15	バレーボール	TBKバレーボール	田彦中学校体育館	土or日 9:00~12:00	月 500円		全域	2/7実施予定 41人参加予定
16	バレーボール	勝田一中バレーボールクラブ（仮称）	勝田第一中学校体育館	土or日 9:00~12:00			一中学区	2/7実施予定 22人参加予定
17	バスケットボール	BLACK ORCA	美乃浜学園体育館	土or日 18:30~20:30			全域	新規参加者なし
18	バスケットボール	ひたちなか市バスケットボール協会 HITACHINAKA NOVA（男）ARCAS（女）	市内中学校体育館 他	土or日 8:30~11:30	月2,000円		全域	2回実施（3会場） 85人在籍
19	バスケットボール	勝田二中バスケットボールアカデミー	勝田第二中学校体育館	土 13:00~16:00	1回500円		二中学区	1回実施 23人在籍
20	卓球	二中学区少年団	津田コミセン	土 9:30~11:30			全域	新規参加者なし

部活動をベースにした活動（兼職兼業の教員と地域が連携）
少年団・道場をベースにした活動
社会人の活動をベースにした活動
その他

No.	種目	団体名	活動場所	活動日時	活動費	定員	対象範囲	試行期間中の活動状況
21	卓球	佐野中学区少年団	佐野コミセン	土 13:00~15:00		10名程度	佐野中学区	2回実施 3人参加
22	卓球	田彦中学区少年団	田彦コミセン	土 10:30~12:00		10名程度	田彦中学区	2回実施 2人参加
23	卓球	総合型地域スポーツクラブみなとwaiwaiクラブ 卓球教室	しおかぜみなと体育館	土or日 9:30~11:30 13:30~15:30			全域	2回実施 3人参加
24	体操競技	ひたちなか体操クラブ	勝田第一中学校体育館	土 9:00~12:00 月木 18:00~21:00			全域	2回実施 11人在籍
25	柔道	昭道館池内道場（中体連参加）	昭道館池内道場	土 14:30~17:00 月水金 18:45~21:00	コース別料金		全域	新規参加者なし
26	柔道	舞鶴柔道クラブ（中体連参加）	水戸刑務所柔道場	土 9:00~12:00 火木金 19:30~21:00	月1,500円		全域	新規参加者なし
27	柔道	E. N. A柔道スクール（中体連参加）	佐野中学校柔道場	土 9:00~12:00 月水金 19:30~21:00	月2,000円		全域	新規参加者なし
28	柔道	望海柔道塾	勝田第二中学校柔道場	土 17:00~19:00 月水 19:30~21:00	月1,000円		全域	新規参加者なし
29	剣道	若汐会	しおかぜみなと体育館 那珂湊中学校柔剣道場	火木金 19:00~20:30	年5,000円		全域	新規参加者なし（休日の活動なし）
30	剣道	青藍館	枝川小学校体育館	土 16:30~19:00 火木 20:00~21:00	月3,000円		全域	新規参加者なし
31	剣道	勝田若葉会	勝田若葉会剣道場	月水金 19:45~20:45	月5,000円		全域	新規参加者なし（休日の活動なし）
32	剣道	たびこ清剣会	田彦中学校武道場	土 8:30~12:00 火木 19:00~21:00			全域	2回実施 7人在籍
33	剣道	大成会	勝田第一中学校武道場	土 9:00~12:00			全域	2/7実施予定 16人参加予定
34	吹奏楽	ひたちなかフィルハーモニー ウインドオーケストラユース	東石川小学校体育館	土or日 9:00~12:00	月1,500円		全域	2回実施 69名在籍
35	吹奏楽	ネモフィラ吹奏楽団	佐野小学校体育館 他	日 9:00~12:00	月3,000円		全域	新規参加者なし
36	吹奏楽	ひたちなか市民吹奏楽団	東石川小学校体育館	土 18:00~21:00	月1,000円		全域	新規参加者なし
37	合唱	勝田混声合唱団	一中地区コミセン	日 13:30~15:30	月1,000円		全域	0人
38	ニュースポーツ	総合型地域スポーツクラブみなとwaiwaiクラブ ニュースポーツ教室	しおかぜみなと体育館	土or日 9:30~11:30			全域	0人
39	なぎなた	勝田なぎなたクラブ	勝田若葉会剣道場	土 10:00~12:00	入会金1,500円 月1,000円	10名程度	全域	0人



自ら考え行動しより良い社会の創造に貢献できる市民の育成  
～ こどもを主語とした自由で楽しい学び場づくり ～

【重点方針】「学校アップデート・プロジェクト」(SUP) ～こどもを夢中に、受け手から創り手へ

■ 1 自治的活動による Agency の育成 ～こどもの意見を尊重した魅力ある学校づくり

- 1 学級会、委員会、総会等の活性化 …合意形成・意見表明のトレーニング
- 2 こどもを主体としたルールメイキング等 ～当事者意識・責任感・自己有用感へ
- ☞ 1～2月授業公開（保護者・地域） ※主体的・創造的シビックプライドの醸成

■ 2 探究を軸とした学びのスタイル改革 ～モチベーションと出番を重視した学びを追究

- 1 個別最適・自由進度・AIドリル
- 2 探究（課題解決重視型学習）
- 3 対話的・協働的な学び
- 4 ICT・生成 AI 活用
- ☞ 9～12月授業公開（保護者・地域）、下■ 3（5）を含め教員は1～5のいずれかを実践

■ 3 英語発信力の向上 ～世界とふれあう自立協働都市をめざして、多文化共生社会へ対応

- All English（5）、茨城高専留学生交流、学校間英会話交流、英語プレゼン発表

■ 4 キャリア形成支援 ～白亜紀層から G1 タワーへ、そして未来へ

- 1 ふるさと体験プログラム（小・遠足等）、ふるさと検定（児童・企業・市民が作問）
- 2 キャリア探検ラリー（小4～中2） ～社会のリアルを学びのモチベーションに

■ 5 学校風土改善 ～自己肯定感を育み、新規不登校・いじめ傍観者ゼロの安心安全な学校へ

- 1 体罰・暴言等、不必要・不合理ルールの根絶 ～教員は命と人権を守るロールモデル
- 2 こどもの観察や教職員間の情報交換の充実、弱音・愚痴を語れる学校・職場づくり  
～こどもの困難や問題行動に向き合い共感し、共有し支援する組織体制を充実
- 3 問題発生時における状況把握と迅速・適切な判断・指示のためのガバナンスの強化
- 4 いじめ認知の徹底・迅速化、不登校の日数等フェーズに応じた対応の充実
- 5 ケース会議の実施徹底、医療福祉等専門機関との迅速な連携、学校段階間連携の推進
- 6 こども・教職員・組織の取組の検証と改善の着実な実施（R-PDCA）

■ 6 研修の充実 ～学びのプロに、研究・研修の一体化、ダウンロード型からダイアログ型へ

- 1 セルフマネジメント化 …探究型・ウェビナー（NITS等）・武者修行の奨励
- 2 市教育研究会を主体とした講座・サークル活動の推進 …オンライン化・発信の促進
- 3 校長による校内育成マネジメントの確立 …中高接続研究（高校授業視察）含む

■ 7 働き方改革の徹底 ～授業を改善しこどもの困難に向き合う本務に専念できる環境を担保

- 1 業務量管理・健康確保措置実施計画 ～学校運営協議会で議論、行事・事務等を検討
- 2 中学時間外月 45 時間未満 66% …繁忙期分掌変更・平準化、デジタルツール活用促進
- 3 出張・会議の縮減の徹底 …打合せ・連絡のオンライン化の促進
- 4 チーム担任制・教科担任制の推進、複数校遠隔授業の奨励

■ 8 地域とともにある学校づくりの推進 ～地域のこどもを地域で育てる、まち全体が学校

- 1 コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進 ～こどもの地域行事参画等
- 2 地域クラブ活動の推進 ～平日の学校部活動の地域展開を視野に